

6. 受益者負担金賦課情報システム

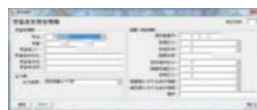
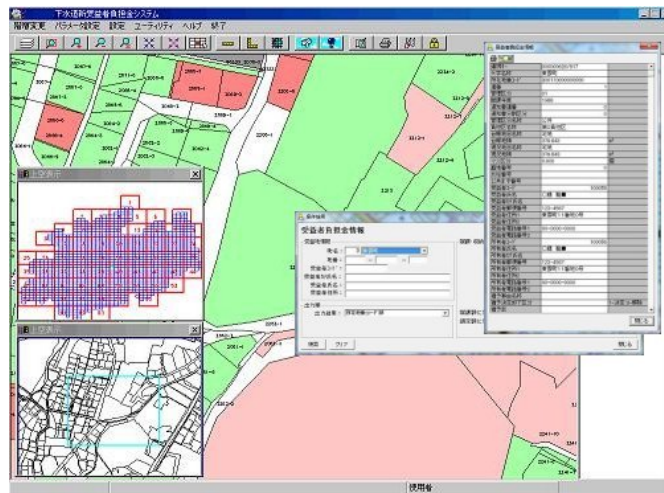
概要

受益者負担金の賦課・徴収業務では、各種通知書や納付書の作成、収入消込処理等以外にも、地図情報システムにより、賦課地の管理を行うことが求められます。受益者負担金管理では、賦課時の筆形状を記録しておく必要があり、現況地番上に賦課当時の筆形状を重ね合わせる必要があります。

業務実施のメリットや効果

- ① 賦課済みの地番や猶予、滞納中の地番が地図情報システム上で分かり易く表現され、賦課漏れ解消に効果的です。
- ② 受益者負担金に関する問合せ時に、古い賦課図を広げることなくシステムから容易に確認ができます。
- ③ 過去の賦課図面や資料が整理され、資料保管スペースの削減が行えます。

受益者負担金業務についての豊富な経験により、既存図面や資料の調査をして効率的な賦課図面作成をご提案します。下水道台帳システムや排水設備情報システムを併せて運用することで、樹設置、排水設備申請、受益者負担金徴収と一連の業務フローが、地図情報システム上で行うことができます。



●賦課台帳検索機能

登録されている、受益者負担金賦課データを各種条件で検索することができます。



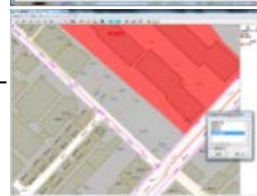
●賦課台帳表示機能

登録されている、受益者負担金賦課データの詳細を表示させ、収納情報も併せて確認できます。



●位置検索機能

登録されている、受益者負担金賦課データの位置検索をすることができます。



●分布状況表示機能

登録されている、受益者負担金賦課データからGIS上の筆を色分け表示することができます。これにより、未収納、滞納中の筆がGIS上で確認できます。